

## 心を育む読み聞かせ

本校では、『読書を通して心豊かな子ども育てる』ことをねらいに読書活動に力を入れています。

学期毎に、各学年の読書の目標冊数・ページ数を決め、学校や家庭で読書に取り組んでいます。学校では、週1回金曜日の朝に「さわやか読書」の時間を設け、全校生で読書をしています。1学期には、図書委員会の企画による「古本まつり」が行われ、子ども全員が目標冊数・ページ数を達成し、図書委員からプレゼントがありました。

また、読書活動の一環として、「さわやか読書」の時間に月1回読み聞かせを実施しています。

昨年度までは、町の児童生徒相談員の手塚娃子さん一人でしたが、今年度から、町の子育て支援室の伊藤愛美さん、本校児童のお祖母さんの伊藤にしきさん、岡田香代子さんも協力してくださっています。昨年度までは、学校においていただいていた読み聞かせは各学年年1回でしたが、今年度は毎回全学年で行えるようになりました。1学期に各学年とも3回の読み聞かせをしていただきました。

子どもたちが朗読に耳を傾けたり、本の絵を真剣に見る姿に、読み手と聞き手の心の通い合いを感じます。子どもたちにとって、読み聞かせが情緒や感性を育むとても良い機会になっているように思います。



<伊藤にしき さん>



<岡田香代子 さん>



<手塚娃子 さん>



<伊藤愛美 さん>

## メディアについて考える

7月18日(木)の学校保健委員会で、長井警察署の清野典子総括少年補導専門官より『子どもたちを取り巻くインターネットの現状について』ご講話をいただきました。

私たち大人が、状況と実態を理解しておく必要性を強く感じました。子どもが深く考えずに、被害者や加害者になるケースもあるようです。

- ① 無料オンラインゲームで有料のアイテムを購入し多額の請求がくる。
- ② 無料オンラインゲームで友達のパスワードを無断で使って遊ぶ。
- ③ ネットの掲示板に他人の悪口を書く。
- ④ コミュニティーサイトで性犯罪等に巻き込まれる。



インターネットを使う上で、本人に「判断力」「自制力」「責任力」があることが前提であり、その上で、「モラル」「コミュニケーション力」がなくてはならないとのことでした。

家庭での対応として次のようなことが大切だそうです。

- ① 家庭でのルールを作る。
- ② 困った時は、大人に相談できるようにする。
- ③ 大人は子どもに教えてもらって、使われ方について知っておく。
- ④ 安全を守るためにフィルタリングをしてもらう。

現実社会でも、ネット社会でも大切なのは「モラル」と「思いやり」とのお話でした。

昨年度のPTA研修会では、さとう小児科医院の佐藤慎太郎先生より、テレビ・ビデオ・ゲーム等の長時間視聴が、子どもの心身の健康に与える影響について講話をしていただきました。

メディアやインターネットは便利なものですが、使い方を誤れば、子どもの心身の健康だけでなく、犯罪に巻き込まれる危険なものでもあります。

今、親として大人としての判断や責任が問われているように思います。

子どもたちの家庭生活・学校生活を充実したものにするために、「メディアやインターネットと子どもたちをどうつきあわせていけばいいのか」「子どもの生活リズムの確立をどう図っていけばいいのか」を真剣に考えなければならないように思います。

## 生活習慣の大切さ

6月29日(土)「あ～す」で飯豊町PTA研修会がありました。本校が担当ということで、たくさんの保護者の皆さんに協力と参加をいただきありがとうございました。

研修会では、東海大学教授の小澤治夫先生に、『学力・体力・気力を高める生活習慣づくり～学校・家庭の役割～』という演題で、ご講演いただきました。

小澤先生のお話で印象に残ったのは、次のことです。

- ① 習慣を変えれば行動が変わり、行動が変われば態度が変わり、態度が変われば人格が変わり、心が変わり、そして運命、人生が変わる。(風車理論その1)
- ② 習慣の第1は朝食。しっかり食べれば、気力も体力も学力も上がる。  
「朝食→ウンチも出て体調良好、意識も高い→学習・授業・部活動で力を出し切る→おいしい食事→心地のよい疲労、風呂に入って気分すっきり→深く十分な睡眠→目覚めすっきり→朝食」というサイクルを創る。(風車理論その2)
- ③ 小学校の時期は、神経ネットワークが大きく伸びる時期である。  
子どもに難しい暗算や新しいことを体験させると、脳の血流量が増える。適度なストレスが子どもを成長させる。  
ボディーパーカッションの授業で、お互いに呼吸を合わせながらやらせたときに、脳の血流量ががぜん上がった。みんなで力を合わせることが大事である。
- ④ 学校がある日とない日では、身体活動量が全然違う。週末にだらだら過ごすとならば、脳の活性レベルが落ちていく。月曜日には大人も仕事に身が入らない時がある。子どもにも同じことが起きている。
- ⑤ 望ましくない生活習慣で成績と一番関係しているのは、小学生ではテレビ、高校生ではインターネット・携帯電話である。夜遅くまでテレビ番組があり、携帯メールやネットにはまって寝ないというのは、日本の社会問題である。

講演をお聞きして、生活習慣の大切さを再認識することができました。まずは生活の基盤として「早寝・早起き・朝ごはん」をしっかりさせていきたいものです。

まもなく夏休みになります。家庭での声がけと見届けをよろしくお願いします。

